

放射線科

診療科名	放射線科
科長名	朴 辰浩
診療科概要	当科では、放射線診断、核医学、放射線治療、インターベンショナル・ラジオロジー（IVR）など、放射線診療の4分野をカバーしている。放射線診断には各種エックス線検査、CT、MRI、超音波検査などが含まれている。核医学はSPECTのみならず、FDG-PETも研修できる。また、核医学治療も甲状腺関係、骨転移の除痛、悪性リンパ腫の標識抗体治療を経験できる。放射線治療の分野では頭頸部腫瘍、乳癌、肺癌など、多くの診療科の患者を対象に行っている。IVRはTACE、ドレナージ、PTA等の各種の治療を行っている。当センターの放射線診療設備は、定期的な更新を行い、ほぼ最先端に近い装置が備わっている。診療内容も、地域がん診療連携拠点病院でもあり、多数の症例を扱っている。他施設で経験することのできない広範かつ高度な放射線科としての知識を適切な指導医のもとで研修が可能である。
取得可能認定医専門医	日本医学放射線学会認定放射線科専門医 (日本核医学会認定核医学専門医)
指定研修施設の名称	東京医科大学八王子医療センター
修養年限	3年
プログラム	日本医学放射線学会認定放射線科専門医の研修は日本専門医機構の専門医制度整備指針に基づき、「東京医科大学放射線科専門研修プログラム」に従って行われる。すなわち、東京医科大学病院（新宿）を基幹施設とし、東京医科大学八王子医療センターは連携施設となる。したがって、東京医科大学八王子医療センターにおいて研修を希望する者であっても、基幹施設である東京医科大学病院（新宿）に登録する必要がある。その上で、各人の希望に応じて研修コース（研修希望施設）を決定する。
1年次	指導医の下で、放射線診断の基本的な読影能力を身につける。各種学会、地方会、研究会への参加、学会発表および論文作成に努める。
2年次	指導医の下で、核医学、放射線治療、およびIVRの能力を身につける。各種学会、地方会、研究会への参加、学会発表および論文作成に努める。
3年次	指導医の下で、放射線診断、核医学、放射線治療、およびIVRの能力を深め、放射線科専門医の受験を目指す。各種学会、地方会、研究会への参加、学会発表および論文作成に努める。
スタッフ紹介	朴 辰浩 1992年卒 (放射線診断専門医) 大久保 充 2003年卒 (放射線治療専門医) 眞田 知英 2011年卒 (放射線診断専門医・核医学専門医) 代田 夏彦 2011年卒 (放射線診断専門医・IVR担当医) 川崎 真紗子 2011年卒 (放射線診断専門医・核医学専門医) 高良 祐葵 2013年卒 (助教)